

JA豊橋白菜部会が 厳選出荷を確認

量目を守り玉揃え確実に

1月16日、JA豊橋白菜部会は、同JA第四事業所において年明けの白菜目揃え会を開いた。部会員ら約130人が参加して、出荷規格を確認した。白井靖之部会長が「優利販売ができる品質の良い物を作って出荷しよう」とあいさつ。同JA白井良始組合長は、「一致団結して厳選した白菜を計画的に出荷し、皆さんの期待する販売に結びつくよう本日の目揃え会を有意義なものにして下さい」と激励した。JAあいち経済連は情勢報告で「冷え込み、干ばつにより生育が遅れていたがここに来て作柄も回復傾向で月末にかけて出荷量も増える予想。選別基準を守り揃った品物を計画的に出荷すれば価格も上昇する」と報告した。市場関係者は「一人一人の選果、選別がブランド維持に繋がりに大事なこと。迷ったものは一ランク落とし基準を崩さないで欲しい。販売努力して生産者の不満解消をしていきたい」と報告した。



JA豊橋洋菜部会は1月20日、年明け目揃え会を同JA予冷センターで開いた。サニーレタス、グリーンリーフレタスやブロッコリーを栽培する部会員ら約100人が出席し、出荷規格を徹底することを確認した。

山田充宏部会長は、「本年度2回目の目揃え会ですが前回と生育状況も変わっているため、品質を揃えて安定した出荷をしていこう」とあいさつした。JAあいち経済連は、「干ばつ、冷え込みの影響で生育が遅れ各産地の出荷量が不安定であり、まとまった量が出ない状態が今後しばらく続くと思われる。目揃えで確認した選別基準を守り、揃った品物を出荷すれば豊橋産として価格もついてくると思う」と情勢報告をした。市場関係者からは「今年は予想外の寒波の影響等で年内は出荷量が少なく価格が上昇した。年明けの出荷量は不安定で予測しにくいがこのままの価格推移が続くような販売に努める。豊橋のブランドを守って選別を徹底して出荷してほしい。」と要請した。

目揃えでは、JA担当職員がそれぞれの品目についてサンプルを示しながら出荷規格を説明。参加した生産者は細部に渡って確認した。同JAからの洋菜出荷は3月中旬まで続き主に関東方面の市場へ送られる。

規格厳守して豊橋ブランド堅持を 洋菜部会目揃え会で徹底



1月23日、JA豊橋の各事業所で年明けのキャベツ目揃え会が開かれた。昨年末は低温干ばつにより玉伸びが遅れ、品薄となり価格も高値で推移した。年明けの価格もまずまずの価格を維持しており、当面は大きな価格変動は無いと予想されている。ほ場にはまだ6割程度のキャベツがあり今後の出荷は8玉中心で前倒し出荷をしていく事を確認した。

第二事業所の目揃え会では、部会員ら約130人が参加して選別基準などを確認し、良品出荷によるブランドの堅持を誓った。同JA大澤浩キャベツ部会長は、「玉揃えをしつかり行い、量目を厳守して揃った品物を出すように。品質も良いので自信を持って出荷しよう」とあいさつ。市場関係者から「小玉傾向にあるので特に量目に注意して選別をお願いしたい。豊橋産中心でレギュラー売りをどんどんやっていくので8玉中心で出せるうちに前倒しで収穫してほしい」と要請した。目揃えでは、担当職員がサンプルを示して説明、参加者は細部に渡って確認していた。1月～3月のJA豊橋の出荷量は250万ケースが見込まれており、関東および中京、大阪方面の市場へ出荷されていく。

選果、選別を徹底し量目を守って出荷を キャベツ年明け目揃え会

